

① 鬼面の写真が8個あります。あなたは何番目にあるお面が好きですか？または気になりましたか？理由も含めて書いてみましょう。



91点の鬼面が並ぶ「修正鬼会の世界展 鬼とかす仏」11日、国東市歴史体験学習館



ユニーク鬼面一堂に

② 文章の中に出てくる「718年」の時、日本は何時代だったでしょうか。

() 時代)



成仏寺の災払鬼面

岩戸寺の災払鬼面

文殊仙寺の災払鬼面

垂祖寺の災払鬼面

③ 文章の後半で出てくる「パプアニューギニア」は、世界のどのあたりにあるのでしょうか。地図帳や地球儀で探してみましょう。

六郷満山の91点、見比べて

国東で「修正鬼会の世界展」

六郷満山の民俗芸能「修正鬼会」の鬼面ばかりを並べたユニークな企画展が1日、国東市歴史体験学習館で始まった。開山1300年に向けた企画の一環、険しさや不気味さ、おかしさ…。19カ寺と2地域の計91点が展示され、さまざまな表情を見比べて楽しめる。12月25日まで。

六郷満山は国東半島の天 18年に節目を迎える。鬼台宗寺院の総称。市教委に 会は国指定重要無形民俗文化財。718年に仁聞 化財。仏や高僧の化身とさ 菩薩が開いたとされ、20 れる鬼が、たいまつを手

して前後左右に跳ぶ秘事「鬼走り」で国家安寧や無病息災などを祈る。企画展は「修正鬼会の世界展 鬼とかす仏」。現 在も鬼会が続く岩戸寺(国東市)成仏寺(同)の他、途絶えてしまった寺院・地域の鬼面も多数展示している。いずれも木製で、大半は作者が分からない。1471年に作られ、1835年に作り直されたという霊仙寺(豊後高田市)の「災払鬼面」「荒鬼面」は最も古いタイプの一つといふ。半球状に彫られた目、一文字の口、ひもで結い付けた耳などが特徴で、どこか愛嬌がある。その後の時期の面に見られる険しい形

相とは一線を画し、市教委文化財課の担当者は「時代によって鬼のイメージが変わるのが分かる」と解説する。会場を訪れた県立歴史博物館(宇佐市)の太田啓嗣企画普及員は「いろいろな般若の顔だけでなく、パプアニューギニア方面にルーツがあるのではと思わせるような顔、動物のヒビに似た顔もある」と熱心に見学していた。

高校生以上200円、中学生以下100円。午前9時〜午後5時(月曜日と、祝日の翌日は休館。問い合わせは同課(☎0978・72・2677)。

(中谷悠人)